「新生！　北九州高校への挑戦」

学校長　久保　英二（本校９期）

本年は創立５０周年記念の年です。教育活動全般を見直すには最適の時と考えています。

そこで、まずはカリキュラムの問題を解決するために、時制を変えて、カリキュラムによる学力保障を行うと同時に、朝課外ではなく放課後課外等で進路保障する体制を整えました。さらに、「学びなおし」と「新しい学び」をともに実りあるものにするために、タブレット等の活用による学習形態の導入を図ります。また、土曜講座の拡充と３年間を見通した進路体制の確立を図り、「確かな学力」をつけるために学びの形全体を進化させます。

次に、様々な体験をさせることで、生徒の成長を図ります。１年生は、小倉城庭園での茶道を中心とした「日本文化体験」、大学生の支援による「カタリバ」で自己の生き方や勤労観・職業観の育成を図る計画を立てています。２年生は、修学旅行の往路をグループで選択することとし、社会人として必要な行動力や自主性の伸長を図ります。３年生は、歌舞伎研修を実施して、グローバル時代に必要な日本人としてのアイデンティティの育成を図ります。さらに、今年度から全学年で「地域貢献チャレンジプロジェクト」として、わが街、北九州にある課題を各人で考え、それをクラスの仲間と考えて発表する新しい学びである「アクティブラーニング」の手法を積極的に取り入れ、北九州市を愛して、貢献できる「地方創生」型の人材の育成を図ろうとしています。

５０周年に関連しては、北九州市の誇るべき様々な観光資源や行事、人物を取材して「私たちの北九州遺産」という本を作成します。また、３月末にはベトナムへ１０名の生徒を選抜して海外研修を行いました。さらに、夏には、企業訪問、大学訪問、国会等の官公庁の見学、関東北雄会の方々との懇親会等のプログラムにより、日本の最先端の動きや現在の課題等を考える国内研修を計画しています。さらに、北九州市立高校とお互い切磋琢磨して競い合う関係を構築するため、５０周年を記念して対校戦を行います。また、文化祭や体育大会も５０周年を記念して趣向を凝らした企画を練っているところです。

縷々述べてきましたが、教育活動にはどうしても費用がかかります。現在の子供の貧困率はOECDの中で最も高い状態が続いております。そのことも踏まえまして、支援基金の検討に入っています。私も卒業生として校是である「フロンティアスピリット」の気持ちを忘れずに、今年は変革の年であると位置づけて粉骨砕身、努力してまいります。北九州高校が新しく生まれ変わり、社会に貢献できる有為な人材を輩出することを期して、学校運営を果敢に行います。どうぞご皆様方の温かいご支援、ご協力を心からお願いしまして、校長挨拶といたします。